



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2017 年 2 月報

- 国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」
- アジア地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事主題 「明日に向かって、今日動こう」
- 北東部長主題 「明日のために、いま土台を築こう」
- クラブ会長主題 「笑顔で今活動を」～出愛・ふれ愛・学び愛～

会 長 吉田一恵
 副 会 長 佐々木絹子
 書 記 横倉 純
 会 計 田中京子
 メネット会長 田村成子
 担当主事 鈴木陽子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

イスラエルよ。今、あなたの神、主があなたに求めておられることは何か。ただ、あなたの神、主を畏れてそのすべての道に従って歩み、主を愛し、心を尽くし、魂を尽くしてあなたの神、主に仕え、わたしが今日あなたに命じる主の戒めと掟を守って、あなたが幸いを得ることではないか。

申命記 第10章12節～13節

2月の例会

日 時 : 2月21日(火)

19:00~20:30

会 場 : 仙台YMCA立町会館

3階サービス実習室

内 容 : 「子どもたちと一緒に」

後藤昌子さん

司 会 : 中川典幸

食前感謝 : 佐々木絹子



巻頭言「生前贈与」

工藤 正剛

先日、同年の友人の葬儀があった。若い時から一緒に好きな合唱を続けてきたほかに、定年後は現職時代の知識と技術を生かして、地域に大きな貢献をしていた。

数年前に奥様に先立たれてからは、娘たちに囲まれていたものの、やはり寂しさには勝てず弱音を漏らすこともあった。

その彼は、孫たちの教育費として正規に生前贈与の形で孫たち名義の預金を残していた。

80歳を目の前にしてまだ早いと思ったものの、考えてみると現在は平均寿命が大きく伸びてはいても、一昔前では長生きのほうであったのであろう。(自分も含めて)

話は変わるが、死を迎えると、相続の問題に直面する。

財産の多い人はもちろんであろうが、少ない人でも、民法でその配分は決められてはいるものの、残された人たちの間で、その配分が問題になる。

そして、今や相続税法が改定され、基礎控除額が少なくなって全体的に税額が多く、相続を受ける額が少なくなりつつある。

国の財政が厳しくなってきたからだと考えたくもなるが、必

ずしもそうではない。

一昔前、亡くなる方の年齢が60歳代とした場合、相続を受ける人の年齢はおそらく30歳代後半か

1月例会報告

在籍者	18名
出席者	10名
メイキャップ	1名
ゲスト・ビジター	1名
メネット・コメント	2名
出席率	61.1%
ニコニコ	13,000円

ら40歳代であっただろう。丁度子供の教育費などで、経済的に苦しい年代である。そのために相続税も控除額を大きくして、相続人の手元に残る分が多くなるようにしたのであろう。

ところが、今や80歳代で亡くなった場合には相続人の年代は60歳代であろうから、手元に多く残す必要もないであろう、と考えるのは税制を預かる人にとって当然であろう。

そして、孫の教育のために生前贈与をした場合の税制を軽減しようではないかという発想が出てきたのである。

故友人は賢くもその制度を利用して、節税とともに多くを孫のために残しておいてくれたのである。

1 月例会報告

日 時：2017年1月17日（火）18：30～21：00

会 場：伊達のいろり焼 蔵の庄総本店

出席者：岡・岡メネ・小幡・工藤・鈴木・佐々木・高松・田中・田村メネ・永井・中川・横倉・吉田

仙台青葉城クラブ8名・仙台広瀬川クラブ13名・石巻広域クラブ4名

ゲスト：井上優子さん、小野ひさ子さん、川上直哉さん

内 容：恒例の4クラブ新年合同例会が仙台クラブの幹事により、開催された。会場は仙台駅前の「蔵の庄・総本店」畳敷きにテーブルとイス、ゲストを含め32名が集い、くじ引きで各自着席、ほぼ定刻に開会となる。

司会は仙台クラブの高松メン、はじめに阪神淡路大震災発生から22年目の日に当たり、皆で黙とうを捧げる。仙台クラブ吉田会長の開会点鐘、今月の聖句、ワイズソング、ワイズの信条と続き、吉田会長の挨拶では「例会へのご出席ありがとうございます。皆さんそれぞれ新しい目標を掲げられておることと思います。トランプ次期大統領就任を機に離任するキャロライン・ケネディ駐日大使が『東北の強さは世界を元気にしています』とのメッセージを残し、明日日本を離れる記事を目にしました。今日は阪神淡路大震災から22年目にあたり、東日本大震災からは6年になろうとしておりますが、まだ復興道半ばです。1クラブではできないことでも、ロシア民話『おおきなかぶ』のように、私たち4クラブの皆さんで力を合わせれば達成できることもあると思います。YMCAに寄り添い、日々の活動が成果に結びつくことを願います。

本日はいろいろ行き届かないところもあるかと思いますが、時間の許す限り交流を深め楽しんでいただきたいと思います。」と述べられた。

ゲストは盛岡クラブの井上メネット、仙台クラブの行事によくお手伝いを頂いている小野さん、それに川上牧師の3名の紹介と仙台広瀬川クラブの新会員、多田メン・メネットの紹介もなされ、その後

年頭にあたり菅野YMCA会長、及び村井総主事のお二人から挨拶を受ける。菅野会長からは、各種行事に対する支援へのお礼と、震災6年後にやっと、建物改修工事に着手した旨の挨拶が、村井総主事からは「112年目を迎えた仙台YMCAですが、過去に幾度か倒れそうになり、その都度先達の皆さんに救われてきました。しかし現在でも財政的に苦しんでいるのは何でだろうかと思ひ悩み『もう一回見つめ直そう・・・それは社会にきちんと認めてもらっていないからではないか、何をやっている団体なのか・・・』そのことを肝に銘じ、一丸となり進んでいく決意です。」と述べられた。

石巻広域クラブの平井メンの食前感謝を受け、仙台広瀬川クラブ



の及川会長の乾杯のご発声で会食懇談となる。

スペシャルの企画はありませんでしたが、数名からそれぞれアピールがあり、鈴木担当主事のリードで、4チームでのゲームも行われ、楽しいひと時があっという間に過ぎて行きました。今年93歳を迎える岡久雄メンの元気なお姿にも皆で感銘受けつつ、誕生祝い、ニコニコと進み、仙台青葉城クラブの加藤会長から「楽しい例会を開いていただき仙台クラブに感謝します。ニコニコの扱いは仙台クラブの吉田会長に一任します」と閉会挨拶が述べられ、閉会点鐘にて閉じられた。

尚、ニコニコ41,000円は、出席人数で按分され各クラブに納金されました。

2月の強調月間「TOF」

「TOF」(Time of Fast)「断食の時」とも言います。世界の飢餓に苦しむ人々を支援するため、ある月のクラブ例会の食事を抜きにして、その分の金額を献金し、国際が集めて、その年度に定めた支援目標に捧げる奉仕活動です。いわゆる途上国で民生向上のため苦闘しているYMCAが世界YMCA同盟を通じて給付を申請する。これをTOFESC(評価・選定委員会)で審議し、国際会議で支援先、給付額を決めています。

まほうの広場コンサートに出席して

佐々木 絹子

1月12日(木)12時30分に開催のまほうの広場コンサートについてのお話を奈良先生から頂き、吉田会長と聞かせて頂きに参りました。

奈良先生のサーランギ、奥様のタンプーラという楽器と高橋由宇さんの笙 YUU(笙)という楽器で「雅楽とインド古典音楽のコラボ」を聞かせて頂きました。

透き通るような、しばし今の時を忘れて聞いていました。この素敵なコンサートを沢山の方に聞いてほしかったなーと思いつつ広場をあとにしました。



<プロフィール> <http://www.syouyuu.jp/index.html> より引用

笙 Y 幼少より雅楽に惹かれ、13歳で笙の手ほどきを上出久尊氏に受ける。雅楽曲に留まらず、クラシックからジャズまで、幅広いジャンルの曲をアレンジし演奏。平成22年より、宮内庁楽師・松井北斗氏に師事。仙台発の笙演奏家として国内外で活動をし、NHK「おはよう日本」全国放送でも取り上げられる。ウィリアムズ症候群という障害を音楽の分野に特化する才能に開花させ、「こころあたたかくなる笙の音を世界へ」の想いを胸に、笙の音を届け続けている。これまでに4枚のオリジナルCDアルバムをリリース。

仙台 YMCA 国際ホテル製菓専門学校 模擬結婚式に出席して

工藤 正剛

2017年1月13日(金)午後に、仙台YMCA国際ホテル製菓専門学校の学生による「模擬結婚式・披露宴」があり、出席しました。



11月にご案内をいただいてから、例年のこととはいえながしか心待ちのところがありました。

学生たちが学びを通して得た知識と、技に工夫を加えた集大成としての成果披露であります。2年生にとりましては卒業制作、1年生にとりましては先輩からの伝統の受け継ぎと言う意味もあるでしょう。

「模擬」ですから、来賓祝辞や友人のスピーチなどのかた苦し

いことはありません。学科を超えて、全学協力しての美味しい料理と、おもてなし(サービス)、そして学生たちによる多彩で楽しいパフォーマンスの数々を心から堪能することができました。特にケーキや料理は先生の指導の下に作られたものなのでしょうが、口の中に入れたときの芳香、柔らかさなどは一流ホテルに引けを取らないものと思われます。新年度入学予定の高校生も数名出席しており、大いに期待を膨らませたことでしょう。

それにつけても思い出すのは、5年前の2012年2月17日に行われた結婚式及び披露宴です。

その前年、2011年3月の東日本大震災で、予定していた結婚式を行うことができなかった南三陸町の若い二人、菅原浩太さんと阿部志乃さん結婚式・披露宴です。

このお二人のために学生たちが心を込めて、模擬ではなく本物の結婚式・披露宴をプレゼントしたのです。忘れがたい印象深いものでした。ですから、今回の模擬結婚式・披露宴も、本物の結婚式・披露宴を行った先輩たちの心意気を引き継ぎ、心のこもったものになっているのだと思います。



今回、ワイズからの出席者は、石巻広域クラブ清水さん、広瀬川クラブ加藤研さん、松本京子さん、村井伸夫さん、仙台クラブ吉田一恵さん、佐々木絹子さん、小幡忠弘さんそして私工藤正剛の計8名でした。

なお、新郎新婦役の二人の学生は、いずれも背が高くスタイル満点の美男美女でした。

お二人の将来は……?気になります。



わたしの好きな言葉

「大切なのは、どれだけ沢山の事をしたかではなく、どれだけ心を込めたかです。」

吉田 一恵

これは愛の力で世界を動かした女性マザー・テレサが残した言葉の一つです。私自身、頭の片隅に置いて、家庭においても、また色々と奉仕活動等に携わって来たつもりです。しかし言うが安し、評価の結果次第が大事である。改めて心に刻もうと思います。

2月第2例会報告

日時：2017年2月7日(火) 18:30~20:30

会場：仙台YMCA サービス実習室

出席者：今澤・鈴木・田中・田村メネ・中川・吉田

- ① 2月例会は吉田会長の紹介により決定した。尚、T O F月により夕食は軽食とする。ゲスト送迎は田中ウイメンにお願いし、軽食の担当は吉田会長が担当する。
- ② 2016年度仙台YMCA全体研修会、当クラブからのスピーチなどは特に無い事を確認した。出席は工藤メン、横倉メン、吉田ウイメンの予定。
- ③ 北東部主催ユース・リーダーズ・アクト2月25日(土)26日(日)「福島の子どもたちと一緒に笑顔！」出席者を別途確認する。支援金1万円は送金済み。
- ④ 2月東日本区ニュース(理事通信)の内容を会長が説明し確認を行った。尚、2017年7月21日(金)~23日(日)にチエンマイで開催の第27回アジア太平洋地域大会のパンフレットが(株)ワールドトラベルと(株)JEP WORLD TOURS ジャパンエンタープライズから届き回覧した。

- ⑤ 後期区費、各種献金等の納入、BF 使用済み切手の送付について後期区費については請求書が届いたので送金を会計にお願いした。各種献金については送金済みを確認し、使用済み切手については先に持ち帰って頂いた分を整理し2月の例会に持参願いたい旨、工藤メンからの伝言を周知する。
- ⑥ お年玉年賀当選切手シートは下2桁 51・45。今年もご協力をお願いします。
- ⑦ 次期クラブ会長・部役員研修会 3月4日(土)・5日(日) 東山荘、横倉次期会長出席予定で報告済み。
- ⑧ 2月ブリテンについて、合同例会と2月例会の内容確定でほぼ発行出来るとのことでした。又、巻頭言は続ける。「わたしの好きな言葉」の欄のコメントはあまり難しく考えず一言添えて欲しい、今後に向けて私のシャッターの一コマ等、会員に負担にならない欄を設けたらと、多々意見が出ました。
- ⑨ 3月例会についてゲストスピーカーの紹介を会員皆さんにお願いする。
- ⑩ 仙台YMCAの工事の進捗状況の報告を頂いた。また、2月22日(水)「ピンクシャツデー」世界的いじめ運動(いじめのない世界をめざす)に仙台YMCAも取り組んでいる旨報告もあった。

他クラブブリテン紹介 御殿場クラブ1月号より抜粋 今思うこと

渡邊 芳子

何時だったかテレビ番組で出雲大社に初詣にくる人は、神前で手を合わせる時4回合わせるって話してました。4回両手を合わせてシアワセを祈ると。人並みな幸せでいいからと私も4回合わせるようになりました。

でも、今私は充分幸せだと思っています。

主人が逝って10年目になりますが余命宣告を受けた時一言「俺、好きな事全部やってきたから短いけど太くていい人生だったと思っている」そう残して逝きました。主人の生きた歳を超え、今私も同じ心境にいます。唯一つ、気になっていたのが4人姉妹の次女に生まれ、嫁いだ姉に代わり、父、母と共に過ごし3年前母を93歳で見送った後考えました。自分でなく他の姉妹と暮らしていたら母はもっと苦労のない人生が送れたかも。もっと楽な人生を生きたかもと。そんな後悔がずっとありました。でも、12月31日アメリカに住むすぐ下の妹の言葉で私は楽になりました。

「よっちゃんと暮らしたからお母さんはお母さんらしく生きたし、長生きできて、ひ孫にも愛されて幸せだったと思うよ」そう言ってくれました。

母といつも電話で話していても何でも知っていた妹の言葉に受話器を持ったまま私は涙があふれました。一番遠くにいる妹が一番気にかかっていた私の荷物を背中から降ろしてくれました。流されて生きてきた人生のような気がしていましたが、娘として、妻として何とか役目が果たせたなら、今までの人生いい人生だったと思えます。

一人でなんとか生活できて、友人に恵まれ、仲間に恵まれ、大切に思っている人が居たらこれ以上望むことは欲になります。

新しい年を穏やかに迎えられた事それだけでも幸せな事です。

2～3月の主な予定

日 程	内 容
2月26日(日)～	第31回タイ農村ワークキャンプ(12日間) 団長：荒木啓二
3月10日(金)	ボランティア感謝会 会場：仙台YMCA立町会館 時間：18時45分～

2月22日は“ピンクシャツデー”

「互いに認めあう。人に無関心にならない。そんな世の中になってほしい…」 YMCAの願いです。2月22日は、ぜひみなさんもピンクの物を見つけて1日を過ごしていただけると嬉しいです。


いじめのない
世界をめざそう
2017



YMCA ピンクシャツデー
2017年 2月 22日(水)

いじめのない社会を
めざします。

YMCAは「ピンクシャツデー」に取り組みます。社会全体がいじめに対して高い意識を持ち、いじめの被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者」にならないことが、いじめられている子どもを救うことになる…と私たちは考えます。公平で平和な世界の実現を目指すために、私たちはその第一歩を踏み出します。これをきっかけに、いじめについて一緒に考えてみませんか？



世界的
いじめ
反対運動

「ピンクシャツデー」とは…
2007年カナダ、
ピンクのシャツを着て登校した少年が
いじめられました。
それを見た2人の生徒が50枚のピンクのシャツを
友人・知人に配り、翌日登校をします。
学校では呼びかけに賛同した多くの生徒が
ピンクのシャツを着て登校。
学校中がピンク色に染まり、
いじめが自然となくなったそうです。
そのエピソードがSNS等で世界中に広まり、
今では70カ国以上で
いじめに対する活動が行われています。
カナダで最初にこの出来事があった日が、
2月の第4水曜日でした。
それ以降、2月の第4水曜日には
私たちもいじめについて考え、
いじめられている人びとと
連帯する思いを表す1日としています。